

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かつたり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくないうよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具  
 体的な計画を記入します。

\*「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」併せて作成します。

## 【目標達成計画】

優先順位		項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	1 3	参加者の実名記録の検討と、参加者から意見が より出るような工夫をする。	参加者からの意見を十分に出していただけるよう に 会議の運営方法、議題の選定を考慮する。	会議での意見、要望等を再検討し、職員への フィードバック、改善への取り組みを実施する。	3ヶ月
2	6	2 6	利用者、家族の中で意見を含めて記録し て 集約し、定期的に職員全体で検討し対応できる 体制作り。	日々の申し送り及びその記録の中で職員全体で 共有し早期に対応するシステム作り。	日々の申し送り及びその記録の中で職員全体で 共有し早期に対応する。	3ヶ月
3	10	3 10	見直しのモニタリングの内容が分かりやすい様式 を 検討、カンファレンスの内容がプランに反映され るように工夫する。	ケアンプランの様式の変更を検討	ケアンプランの様式の変更を検討	3ヶ月
4	13	4 13	地震等の災害に備え、地域の広域避難場所や食料 の 備蓄、避難ルートの職員周知の取り組み	避難場所や避難ルートを職員へ周知徹底、食料 の 備蓄については検討課題とする。	避難場所や避難ルートを職員へ周知徹底、食料 の 備蓄については検討課題とする。	3ヶ月
5		5				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の処を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。